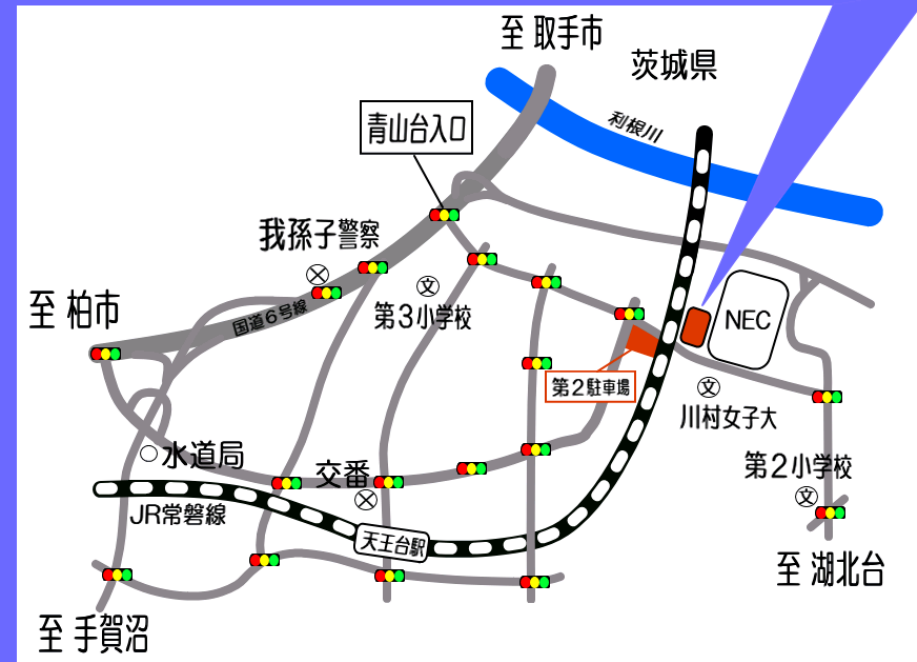


令和元年10月5日（土）
我孫子市版事業仕分け

ふれあい工房運営事業

環境経済部クリーンセンター

ふれあい工房 千葉県我孫子市青山450番地
TEL 04-7186-5500



竣工：平成11年3月

延床面積：578㎡

外壁：押出成型セメント板

敷地面積：1,439㎡

最高の高さ：6.65m

屋根：ガルバリウム鋼板

建築面積：624㎡

平屋造木造(一部RC構造あり)

用途地域：工業専用地域

ごみの減量、資源化活動の啓発を図る拠点とするとともに、市民に自主的な資源化活動の場を提供することにより、リサイクルの技術指導やリサイクル学習などを通して、市民交流、社会参加を進め、以って資源循環型社会の構築、市民と市との協働のまちづくりの推進、社会福祉の向上に資する事業である。

知識や技術を持った高齢者等の方々が技術アドバイザーになり、粗大ごみとして出された家具類などを修理し、再使用や再生利用している。

なお、事業運営及び施設の維持管理は、リサイクル団体や市民からなる「ふれあい工房運営協議会」が行っている。

(ア) 活動内容

①リサイクル講座の開催

家具の補修講座、衣類のリフォーム講座、子供の工作講座等

②再生品の展示、提供

リサイクル家具バザー、フリーマーケットの開催等

③リユース・リサイクル情報の提供

譲りたい人、譲り受けたい人の情報交換、リサイクル新聞発行等

④市民間交流の推進

リサイクルまつり実施等（夏休み体験フェスタの実施）

⑤リユース・リサイクルの啓発

リユース・リサイクル技術者の育成講習会の開催等

**ふれあい工房に関する記載
【平成16年度清掃事業概要】**

ふれあい工房の活動風景①



夏休みに実施するふれあい工房体験フェスタ



リサイクル教室で作成する作品の展示

ふれあい工房の活動風景②



ごみとして排出された木製家具の販売



リサイクルフリーマーケット

ふれあい工房の実績

- 平成12年度と平成13年度には、年間来場者数が1万人を超え、平成21年度までは6千人以上が来場しました。
- 関東近県の中で同様の施設はなく、県内・他県から行政視察等で訪れる方たちも多数あり、我孫子市のPRができました。
- 平成16年度の技術アドバイザー数は59人、部会数は10で、ふれあい工房運営協議会の活動も盛り上がり、多数の市民のみなさんに利用いただきました。
- 平成21年度の技術アドバイザー数は、51人でした。

平成22年度以降のふれあい工房

- それまで無料で利用可能な施設としていましたが、平成22年4月1日から、4時間以内200円、4時間超400円の使用料を徴収することとしました。
- 来場者数は、4千人台まで低迷し、平成30年度は2千人程度に落ち込みました。
- 平成22年度の技術アドバイザー数は41人でした。
- 今年度の技術アドバイザー数は22人、部会数6で、新たに技術アドバイザーを委嘱できる人材の確保も見込みがなく、ふれあい工房運営協議会でも、事業の継続を諦める意見が多く出ています。

建物本体の傷み、不具合の発生状況

- 竣工から6年経過した平成17年度に、西側壁面の雨漏りのが発生し、平成18年3月に外壁とサッシの修繕工事を行いました。
- しかしながら、木質部分に雨水が染み込み、室内の壁に水が滴る状況は改善されませんでした。
- 平成21年頃に、屋根の天窓からも雨漏りするようになりました。
- 東側壁面にもひび割れが生じており、修繕が必要です。
- 今年度は、事務室、小工房A、和室に設置している天井吹出型エアコンの室外機に、修繕では対応できない故障が発生しました。
- 大工房は空調設備がなく、作業空間が異常に高温となることから、今夏は8月に20日間の閉鎖を余儀なくされました。

西側壁面の雨漏り



木質部分から壁面全体に雨水が染みている



内壁に樋を回しペットボトルで受ける設備を自作

屋根の天窗からの雨漏り



雨漏りの原因となっている天窗



天窗の下は、床が変色している（椅子の下）

東側壁面のひび割れ、大工房の暑さ対策



雨漏りの原因となっている天窓



水道水をミスト化して
冷気を得るための設備を自作

エアコンの故障



エアコンの吹き出し口（事務室）



エアコンの吹き出し口（小工房A）